



松前町議会だより

# まつかぜ

第58号

2008年(平成20年)

3月

定例議会



## もくじ

平成20年度予算	2～3	条例制定・意見書・請願	9
予算表	4	いっぱん質問・研修報告	10～16
特別会計・一部事務組合予算	5	町民の声・傍聴席	17
委員会NEWS	6～8	短歌だより	18

発行＝松前町議会 編集＝議会広報編集特別委員会

〒791-3192 愛媛県伊予郡松前町大字筒井631 TEL 089-985-4130 FAX 089-985-4148  
松前町ホームページアドレス <http://www.town.masaki.ehime.jp/>



松前町議会は、(財)日本環境協会の承認を得て、エコマークをシンボルマークとして使用しています。

# 第4次総合計画に着手

当初予算(特別会計、水道会計含む)が決まりました

(一般会計は95億325万1千円、前年度比11.6%増)

北川原

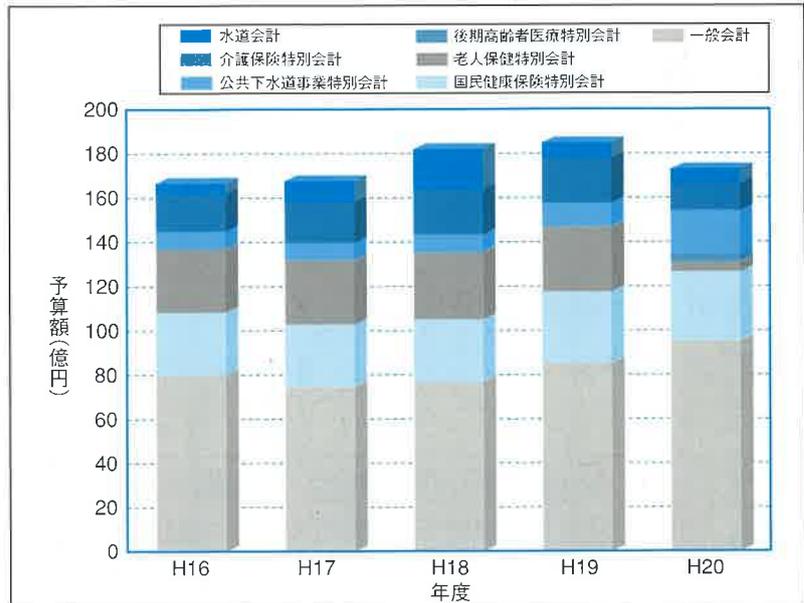


徳丸



屋外拡声子局 (2ヶ年をかけて23箇所を整備)

当初予算総額推移



平成20年3月議会は、3月3日に招集され19日までの17日間の会期で開催されました。

本会議には、平成19年度一般会計補正予算(4号)・平成20年度一般会計当初予算など予算案件13件、条例案件14件、その他議決案件3件、合計30件の議案が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。

今年度の一般会計は、防災対策事業や、高齢者や障害者にやさしい「健康福祉のまちづくり」施策事業に取り組み考えが表明されました。

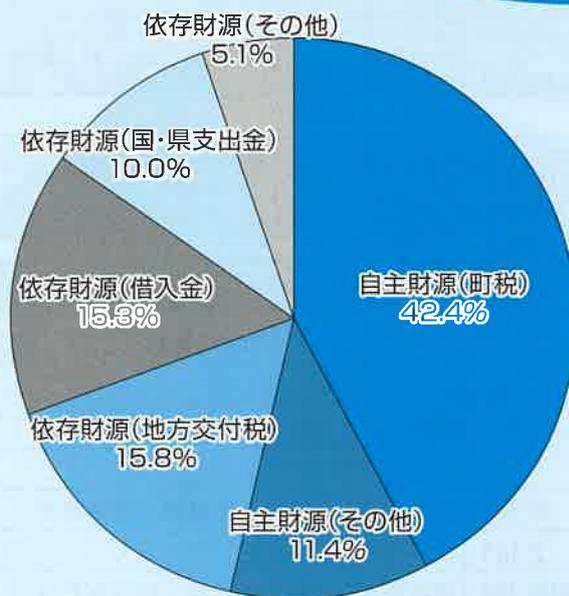
また、7名が一般質問に立ち、行政全般にわたる、理事者の考えをいただきました。

# 更なる飛躍と発展をめざし、

町長ほか特別職の給料10%減額継続 平成20年度

# 173億1,610万8千円

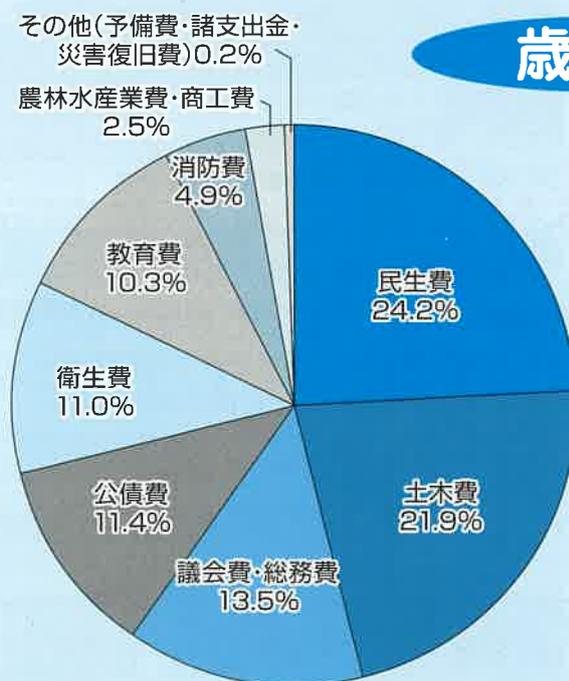
## 歳入



(単位:千円、%)

項目	金額	構成率
自主財源(町税)	4,027,012	42.4
自主財源(その他)	1,083,292	11.4
依存財源(地方交付税)	1,503,000	15.8
依存財源(借入金)	1,454,400	15.3
依存財源(国・県支出金)	950,088	10.0
依存財源(その他)	485,459	5.1
合計	9,503,251	100.0

## 歳出



(単位:千円、%)

項目	金額	構成率
民生費	2,304,413	24.2
土木費	2,080,692	21.9
議会費・総務費	1,284,439	13.5
公債費	1,086,909	11.4
衛生費	1,050,020	11.0
教育費	974,362	10.3
消防費	462,033	4.9
農林水産業費・商工費	241,320	2.5
その他(予備費・諸支出金・災害復旧費)	19,063	0.2
合計	9,503,251	100.0

平成20年度

# 一般会計予算

(主なもの)

(単位：千円)

款	項	平成20年度	平成19年度	増減	主要事業
議会	議 会	111,692	120,560	△ 8,868	議員報酬・議会運営に係る事務費など
総務	総 務 管 理	926,989	806,807	120,182	文書広報・財産管理・企画・コミュニティ対策・防災・情報管理など
	徴 税	186,981	199,953	△ 12,972	税務・賦課徴収
	戸籍住民基本台帳	50,465	52,057	△ 1,592	戸籍・住民基本台帳管理
	選 挙	5,042	44,068	△ 39,026	農業委員会委員選挙・愛媛海区漁業調整委員会委員選挙など
	統 計 調 査	1,918	1,648	270	住宅統計調査・工業統計調査など
	監 査 委 員	1,352	1,348	4	監査に係る事務費など
民生	社 会 福 祉	1,514,795	1,396,471	118,324	社会福祉施設・福祉医療給付・老人福祉・国民年金・地域改善対策・介護保険・福祉センター管理など
	児 童 福 祉	789,618	729,299	60,319	児童措置・母子福祉・母子医療給付・保育所など
衛生	保 健 衛 生	370,483	357,590	12,893	保健衛生普及・予防・環境衛生・公害対策・乳幼児医療など
	清 掃	679,537	677,389	2,148	廃棄物収集運搬・再商品化处理・焼却負担・し尿処理負担など
	上 水 道	0	12	△ 12	
水農 産林	農 業	209,401	299,296	△ 89,895	農業振興・地籍調査など
	水 産 業	418	418	0	水産業振興
商工	商 工	31,501	31,887	△ 386	商工会補助・まさき町夏祭り補助など
土 木	土 木 管 理	79,455	74,344	5,111	土木管理
	道 路 橋 り ょ う	1,482,648	1,074,287	408,361	道路維持・道路新設改良・街灯など
	河 川	10,917	8,245	2,672	河川維持など
	港 湾	588	591	△ 3	港湾管理
	都 市 計 画	454,181	418,092	36,089	公園管理・都市下水路・公共下水道など
	住 宅	52,903	61,707	△ 8,804	住宅管理・改良住宅管理
消防	消 防	462,033	406,411	55,622	非常備消防・水防・常備消防
教 育	教 育 総 務	86,894	74,616	12,278	教育委員会・事務局など
	小 学 校	106,504	76,608	29,896	学校管理・教育振興・学校営繕
	中 学 校	343,464	97,734	245,730	学校管理・教育振興・学校営繕・学校建設
	幼 稚 園	66,701	61,790	4,911	幼稚園管理・幼稚園営繕
	社 会 教 育	263,416	269,253	△ 5,837	公民館・文化財保護・図書館・青少年補導センター・文化センターなど
	保 健 体 育	107,383	102,305	5,078	社会体育・給食センター・町民グランド管理など
	災 害 復 旧	1	1	0	災害復旧費
公債	公 債	1,086,909	1,052,235	34,674	元金・利子
諸支出	諸 支 出	8,582	6,073	2,509	水資源開発・基金
予備	予 備	10,480	9,720	760	予備費
	合 計	9,503,251	8,512,815	990,436	

# 特別会計予算

## 水道事業会計

支出総額 70,697 万円

給水戸数 10,262 戸  
年間給水量 3,246,117m<sup>3</sup>  
1日給水量 8,893m<sup>3</sup>

## 後期高齢者医療特別会計

総額 32,096 万円

## 介護保険特別会計

総額 212,984 万円

## 国民健康保険特別会計

総額 327,045 万円

## 公共下水道事業特別会計

総額 99,629 万円

## 老人保健特別会計

総額 38,427 万円

# 一部事務組合議会予算

## 伊予市松前町共立衛生組合

総額 40,854 万円

分担金及び負担金 39,880 万円  
(内松前町分 25,291 万円)



## 伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合

総額 19,745 万円

分担金及び負担金 8,916 万円  
(内松前町分 4,451 万円)

出身地別措置者数 (平成 20 年 3 月現在)

松前町…23 人 伊予市…10 人  
砥部町… 3 人 組合外…14 人



## 伊予消防等事務組合

総額 134,996 万円

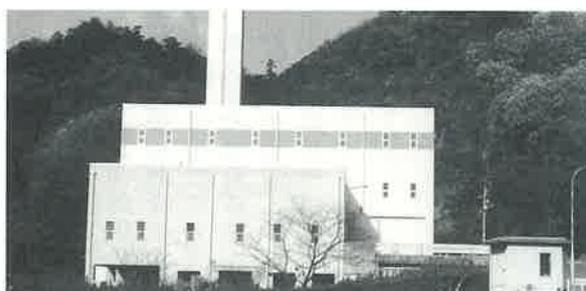
分担金及び負担金 128,748 万円  
(内松前町分 35,917 万円)



## 伊予地区ごみ処理施設管理組合

総額 52,257 万円

分担金及び負担金 48,243 万円  
(内松前町分 21,593 万円)



務教生  
総文厚  
産業建設

# 委員会NEWS

## 総務関係

平成20年度

# 一般会計予算



消防訓練の様相

### ●主たる事業

△電話交換機デジタル更新事業

△防災行政無線デジタル整備事業

△第7分団消防施設整備事業

△インターネット基盤整備事業

### ●審査内容の主なもの

問 松前町税条例の一部改正で、前納報奨金を平成21年度から廃止するが、前納者の割合と今後の周知については。

答 前納は町県民税は43%、固定資産税は70%です。住民への周知は広報やホームページで行います。口座振込みの前納者には、個別に通知し前納を継続されるかを確認します。

問 微収率への影響は。

答 期別納付が増えると想定しますが、微収率への影響は無いと考えます。

問 なぜこの時期に廃止するのか。

答 税収の早期確保や納税意識の向上が重視されていましたが、今後は公平性の確保等が重要で、さらに愛媛地方税滞納整理機構の設立により、滞納対策が充実したためです。

問 電話交換機デジタル更新工事と防災行政無線デジタル整備事業の内容は。

答 現在の電話交換機は設置後13年が経過し老朽化が進むとともに役場から電話した場合に非通知となつています。また、内線の増設が困難となつており、これらを解消するためアナログからデジタルに更新します。

問 防災行政無線については、設置より22年経過しており、デジタル化に更新し、屋外拡声子局を23箇所増設して、難聴地域を解消するとともに、緊急地震速報や気象観測の体制を整えます。

問 第7分団消防施設整備事業の内容は。

答 上高柳に建築する消防施設は震度7の地震に耐えうる耐震性を有し、災害時の避難場所・防災拠点として自家発電装置や耐震性防火水槽等を備えたものになります。

問 町税収入が大きく伸びている理由は何か。

答 固定資産税が主な要因で、土地については(株)フジ建設地の宅地化に伴うものと、東レ(株)の増設に伴う償却資産の増加です。

文教関係

●主たる事業

学校教育課

△松前中学校体育館改築事業

△学校施設耐震事業

(松前小学校)

社会教育課

△放課後子どもプラン推進事業

△公民館町民企画講座事業

●審査内容の主なもの

問 小中学校のコンピュータの借り上げ料は。

答 全額コンピュータリース料です。

問 A L T (外国語指導助手) 派遣費用の内容は。

答 作成費用含む A L T の賃金です。

問 松前中学校体育館の建設費が計上され、一部木造建築としているが、その必要性和県からの補助金はいくらか。また概要は。

答 一部を木造にするように、県から指示があり木造にすることで国庫補助金の外に約2千万円の県補助金が得られます。

一部とは、体育館の2階の部分を鉄骨造で試算した場合は、3千9百万円、木造の場合には、約1億1千8百万円になり、差額が約7千9百万円になります。

施設は新たに5部屋設置し、雨水をタンク貯め水洗トイレの配水で利用します。

アリーナ部分は現在の1・5倍となりバスケットの試合は正式に使用できるが、講堂と体育館としての使用を前提にしています。

全体の事業費は5億5千5百万円、国庫補助金約6千3百万円です。

問 体育館が使用できない期間の対応は。

答 武道場や屋外で考えられるだけ子ども達が利用できる方向で話し合います。

卒業式と入学式は、松前総合文化センターを使用します。

問 文化センターイベント入場料と委託料比を50%目安としているが、50%未満になっているのはなぜか。

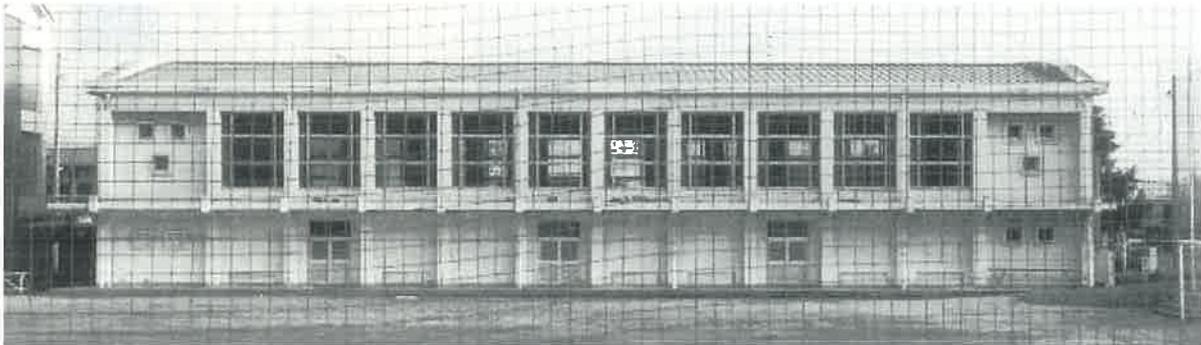
答 イベント入場料は、基本的に50%を目安としているが、委託料と収納可能人数の兼ね合いと、町民への新たな知的刺激、体験情報等を提供し、文化活動の向上のため、低く抑えています。

問 広域学習ホールのトイレの改修は。

答 トイレの改修は、女性トイレの半分を和式から洋式に改修します。

問 文化センターイベント入場料と委託料比を50%目安としているが、50%未満になっているのはなぜか。

答 イベント入場料は、基本的に50%を目安としているが、委託料と収納可能人数の兼ね合いと、町民への新たな知的刺激、体験情報等を提供し、文化活動の向上のため、低く抑えています。



改築される松前中学校体育館

厚生関係

●主たる新規事業

△後期高齢者医療事業

△一時保育事業

△緑のカーテン事業

△バイオマス構想策定事業

△環境行政推進事業 (e s c o 事業)

●審査内容の主なもの

問 住民基本台帳カードの交付手数料を、平成20年度より3年間無料化するが、現在の交付状況と普及促進対策及び既カード作成者との整合性は。

答 現在交付枚数は451枚です。多目的利用の拡大についても検討します。

問 今年度の4月から始まる後期高齢者医療制度の周知方法は、また高齢者の受けることができる健診内容は。

答 各校区の高齢者大学で説明、また対象者全員に対し文章やチラシを送付し周知に努めています。

問 健診内容は国民健康保険が行うものと同様です。

問 介護保険料の収入が前年度と比較して増加している背景は。

答 19年度までは、給付等に必要な保険料を予算計上していたが、20年度からは、実質の保険料収入見込みを立てて計上します。

一方給付費は前年度ベースに予算化されるため本年度の増加に伴う財源として基金積立金に計上しています。

今年度の無料化は、費用負担の見直しに伴い実施したものです。

今年度の4月から始まる後期高齢者医療制度の周知方法は、また高齢者の受けることができる健診内容は。

各校区の高齢者大学で説明、また対象者全員に対し文章やチラシを送付し周知に努めています。

健診内容は国民健康保険が行うものと同様です。

介護保険料の収入が前年度と比較して増加している背景は。

19年度までは、給付等に必要な保険料を予算計上していたが、20年度からは、実質の保険料収入見込みを立てて計上します。

一方給付費は前年度ベースに予算化されるため本年度の増加に伴う財源として基金積立金に計上しています。

今年度の無料化は、費用負担の見直しに伴い実施したものです。

今年度の4月から始まる後期高齢者医療制度の周知方法は、また高齢者の受けることができる健診内容は。

各校区の高齢者大学で説明、また対象者全員に対し文章やチラシを送付し周知に努めています。

健診内容は国民健康保険が行うものと同様です。

介護保険料の収入が前年度と比較して増加している背景は。

19年度までは、給付等に必要な保険料を予算計上していたが、20年度からは、実質の保険料収入見込みを立てて計上します。

一方給付費は前年度ベースに予算化されるため本年度の増加に伴う財源として基金積立金に計上しています。

今年度の無料化は、費用負担の見直しに伴い実施したものです。

今年度の4月から始まる後期高齢者医療制度の周知方法は、また高齢者の受けることができる健診内容は。

各校区の高齢者大学で説明、また対象者全員に対し文章やチラシを送付し周知に努めています。



# 産業建設関係

## ●主たる事業

- △まさき農園開設事業
- △基幹水利施設ストックマネジメント事業
- △町道等維持事業
- △(仮)町道西古泉筒井線道路新設事業
- △老朽放置建物除去事業
- △松前公園多目的広場防球ネット設置事業

## ●審査内容主なもの

**問** 町道筒井徳丸線の用地、補償費の減額に至る内容及び繰越明許費との関連について。

**答** 移転交渉の中で相手の移転に要する期間と予算執行方法などを相対的に考慮した結果、今回、一旦減額措置を行い、改めて20年度で、予算を組み直した。また翌年度の繰越明許費については、その他の移転契約が完了した用地、補償費及び工事費を繰越の対象としています。

**問** 松前農園の開設事業について詳しい説明と、収穫物の販売予定や給食センターでの食材としての利用の考えは。

**答** 場所は古泉駅の南東で、仮設の倉庫を準備し、期間は3年間を目途に受付は産業課で行い、フジの駐車場の利用を考えています。応募については、広報やホームページ等で行ない、松前町民優先で実施したい。また収穫物の利用等は、松前農園の主旨は、食の安全安心など、食に対する意識を見つめ直すもので、自分で作り消費することを基本としています。

**問** 基幹水利施設について、機能診断は長く持たせるためのものか。また、やりかえる場合の対応と、地域の管理している水路との関係は。

**答** 長寿命化を図るためのもので、やりかえる場合は、県営事業として計画に基づき実施します。また、水路との関係は、県営の水路に対してのものです。

**問** 地籍調査は、委託業務の内訳と、外注化による事業の促進において弊害はないか。

**答** 内訳は、西高柳地区地籍測量業務及び筒井・浜・西古泉の一部地区地籍測量業務及び現地調査業務と西古泉地区の地籍測量業務で

す。また、外注化による調査では、民間の専門技術者を活用して現地調査をし、的確な把握や人間関係の調査、各種トラブルの解決を図るため、職員が随行します。今年度以降、外注化による市街化区域の調査を実施し、市街化調整区域は直営により実施します。

**問** 町道筒井徳丸線道路改築事業の必要性、今後の計画、特に56号線より東側に対する事業の取り組み、車線数などの道路規格について。

**答** 幹線道路網は南北軸に比べ東西軸が弱く、それを補完するために必要です。また、国道56号線までの間を平成22年度完了を目指しています。今後の計画については、国道56号線までは4車線で施工し、それ以後については、ルート変更や規模の縮小も含め、計画の見直しも一定必要です。

**問** 町道西古泉筒井線について、大型ショッピングセンターにも道路建設費の負担を求めるときでは。

**答** 負担については今後協議してまいります。

**問** 老朽放置建物除去事業について、対象地区をDID地区に認定するのは何故か。

**答** 災害時の建物倒壊などによる被害を想定するなかで、住環境改善を図ります。

**問** 徳丸浄水場予定地の選定理由と余裕地の多目的利用は可能か。

**答** 徳丸水源地の拡張を予定していたが、周囲の状況変化及び排水路の状況から現在の位置としました。また敷地は適切な施設配置をするが、余裕地については水道事業の用途の範囲内であれば利用可能です。



工事が進む町道筒井徳丸線

条例制定

●外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の出遇等に関する条例

例

本町職員を国際機関等に派遣する場合に、国家公務員と同様の処遇が受けられるよう身分取扱いの整備を行う。

問 給与を支給することが著しく不当であると

答 中立性確保の観点から、当該機関以外から給与を受けることを禁止された場合です。

条例の一部改正

●職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例

●職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

●単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

●後期高齢者医療に関する条例  
75歳以上の高齢者医療の事務について規定  
問 保険料の延滞金及び罰則は。

答 延滞金額1,000円未満は対象となりません。罰則規定は、虚偽の答弁をした場合です。

前記の4条例は、育児を行う本町職員の職業生活と家庭生活の両立を容易にするため、育児のための短時間勤務制度等を導入。  
主な改正は、小学校就学までの子を養育する常勤職員で、勤務は4形態。  
問 勤務形態の途中変更は。

答 可能ですが、事前承認が必要です。

●条例の一部を改正する条例  
町県民税又は固定資産税を一括前納の場合の報奨金を21年度から廃止。

●手数料条例の一部を改正する条例  
住民基本台帳カードの普及促進を図るため、20年度から3年間に限り、交付手数料を無料化。

●母子家庭医療費助成条例の一部を改正する条例

●重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

●国民健康保険条例の一部を改正する条例  
前記3条例は健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正。

●介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

介護保険料の激変緩和措置を20年度も継続するため。

●工場立地促進条例の一部を改正する条例  
当町では、積極的な企業の誘致を行い、産業の振興、雇用の確保及び税収の増を図るために一部改正。主な改正は、設置奨励金を1億円から2億円に、雇用促進奨励金を一人20万円から40万円に、限度額を1,000万円から5,000万円に改正。

●消防団条例の一部を改正する条例  
伊予市・砥部町と均衡を図るため、手当をそれぞれ500円引上げ。



●道路特定財源の暫定税率維持を求める意見書  
〔賛成多数〕  
◎提出先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
国土交通大臣  
内閣府特命担当大臣  
(経済財政政策)

◎提出先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
農林水産大臣  
厚生労働大臣

●万全なBSE対策で、食の安全・安心を守るよう求める意見書  
〔全員一致〕  
◎提出先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
農林水産大臣  
厚生労働大臣

●町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例。  
引続き行政改革の趣旨を踏まえ、町長ほか特別職の給料月額を10%減額。

●住民の暮らしを守るため、地方財政の強化・拡充を求める請願  
〔反対多数で不採択。〕

請願

議員提出議案

意見書2件を可決し国に提出。

あれ  
これ

# 町政を問う

**Q** 心身障害者扶養共済補助持続を！

質問者



松本 一二美 議員

**A** 20年度は維持・21年以降も検討

**問**

「心身障害者扶養共済制度」は昭和45年国の諮問機関独立行政法人福祉医療機構が設立し県が推進してきた制度である。

突然の強行改正で加入者の負担が増大し、障害者の保護者の不安や不満の声は大きい。

制度改正に伴う、町の考えと対応は。

- ①対象者への説明
- ②相談体制の確立を
- ③補助率の現状維持を

**答**

白石町長

①当町では現在、28人が加入しています。2月初旬、加入者全員に説明文書を送付しました。

②再度、個別相談に応じる旨を通知し、理解に努めていきます。

③一般世帯加入者の個人負担が増加することから、町では20年度は従来同様3分の1の補助をします。21年度以降も毎年財政状況等を考慮しながら補助率を検討し、加入者負担軽減を図ります。

**問**

保育所の統合と建て替えを

町内保育所7箇所の、築年数と耐震は。

宗意原保育所と松前保育所は、施設老朽化・距離の利便性・送迎時の安全面から、統合を提案するが考えは。

工作上、休日保育を要望する声が多いが、町の見解は。併せて、保育所での休日保育を要望するが、考えは。

**答**

統廃合・民営化を検討します。

高橋福祉課長

黒田保育所、小富士保育所以外の5カ所は、建築後30年前後経過しており、耐震化の検討をし、計画的に建替えを行っていく必要があります。

今後、町内保育所の統廃合や民営化を総合的に検討します。

保育士の不足からも、休日保育実施は困難です。

町内託児所等の情報を提供していきます。

**問**

火災警報器設置対応は



住宅用火災警報器

消防法改正により、平成26年1月までに設置が義務付けられている「火災警報器設置」の町対応は。

- ①普及啓発の方法
- ②悪徳業者排除の対策
- ③町営住宅への対応
- ④弱者への補助制度を
- ⑤データ化し防災計画で活用する考えは。

**答**

町営住宅へは計画的に設置中

中矢総務課長

①普及啓発は、広報まきに通算5回掲載し、さまざまな機会をとらえて進めています。

②悪徳業者対策は、啓発に併せて行っていますが、今後も体制を整えていきます。

③町営住宅は、江川住宅・義農住宅・義農アパート・平松住宅に設置しました。他の町営住宅については、平成23年までに順次計画的に設置します。

④弱者へは、自動消火器や火災警報器などを支給する日常生活用具給付事業を実施しています。

⑤データベース化は、届出義務がないので困難ですが、福祉関係団体からの情報提供で防災対策に活用していきます。

その他、松前町HP「街の掲示板」充実について、質問しました。

質問者



八束 正 議員

**Q** 中小零細企業への支援対策は

**A** 商工会と連携し協力します

**問** 大型店の進出で在来の中小零細企業が苦しんでいることは全国共通の問題点である。地元中小零細企業も例外ではない。松前町としての支援対策は。

**答** 得能産業課長

大型商業施設のオープンにより多くの買い物客が訪れます。大型商業施設との連携により、既存商店街へ誘導も可能です。今後地元商工会を通して具体的な要望の把握に努め商業者支援と商店街の振興に取り組みます。

**問** 中小零細企業振興条例制定について

具体的な支援対策ですが、中小零細企業を町の柱に据え、活力のある産業のまちづくりを進めていくことであり、国、

県その他の機関と連携を図り、地域特性に適した政策を町民、企業関係団体等及び町が一体となって推進できる条例制定が必要では。

**答** 中小企業制度利子補給に関する条例があります  
得能産業課長

現在中小企業を営んでいる個人、法人に対して資金の融通を円滑にするため、中小企業制度資金利子補給に関する条例があります。毎年度1億5000万円を限度として1人につき1000万円を限度とし、支払い利子額の十分の一以内としています。利子補給の期間は、融資から三年以内とされています。利用する場合は、商工会と連携をとり、側面からサポートします。

**問** 地域自立の産業政策を

大都市と地方との経済

格差が広がって行く中で松前町独自の産業政策にむけた取組みは。

**答** 第4次松前町総合計画で検討  
白石町長

産業の振興あるいは地元雇用の促進を図る必要性を強く感じております。南黒田工業団地も積極的に進めたい考えで工場立地促進条例の一部改正を提案しています。又農業振興面では農業経営の発展を目指し、他産業並みの所得あるいは年間労働時間の水準を実現するよう、今後国の制度を活用した施策を用いて支援していきます。商工業の振興については、もともとの地場産業である珍味業界や既存商店がショッピングセンターのオープンを機に、買い物客が既存の商店街へも流れるような方策を今後商工会と連携をして協力します。これから将来にわたる地域の経済が自立的発展をするために第4次松

前町総合計画の中で検討をします。

**問** すべての地産地消こそが産業政策では

活力ある産業のまちづくりのために、主要産業である農業、海産珍味産業、漁業、商工業の一層の振興が不可欠である。特に海産珍味は全国の7割のシェアを誇り松前町のブランドとしてアピールする必要があり、又、地産地消の取り組みも必要ではないか。

**答** 今後の地産地消に期待  
白石町長

海産珍味は商工会でもブランド化について検討していますが不調に終わったと聞いています。今後ブランド化ということになれば松前町の名を全国に広めていくことができますと期待をしています。又地産地消についても、農産品は学校給食やエミフル松前の敷地において商工業が中心に地元産品の直売所の計画があるよう



旧市街地

で、実現すれば地産地消が広がるというところで期待をしています。

質問者



村井 慶太郎 議員

**Q** エミフルまさき出店に伴う  
治安対策は

**A** 安心して安全な生活を送れるように  
努めます

交通安全対策は、国道からの来店を容易にするオーバークリップを設置したほか、来店者にわかりやすい経路案内の看板等を設置、さらに要所ごとに交通整理員を配置し、交通渋滞の緩和や交通事故の防止に努めます。

防犯対策は、夜間に照明を設置するとともに24時間の警備体制をとり、補導員、青パト隊等による連絡協議

**問** エミフル周辺のパトロールの強化や交通安全対策、犯罪や少年非行など、治安問題にどのように取り組むのか、交番の新設も含め、現行の交番配置を見直す考えは。

**答** 栗田副町長

会を設置して巡回をしていただくなど、住民の皆さんが安心して安全な生活を送れるように努めていきます。

松前交番については、建てかえが必要な時期となっており、今後のまちづくりを考慮し、警察や関係機関と協議していきたくと考えています。



エミフルMASAKI

**問** いじめ対策の  
取り組みは

いじめは親や先生などにも打ち明けるのに時間がかかり、誰にも打ち明けられず一人で抱え込み、なかなか表面化してこない。いじめは許すことのできない問題、町として今後どのような取り組みをしていくのか。

**答** 人権教育の推進、  
道徳授業の充実

永見教育長

学級担任と児童・生徒とのコミュニケーションを活発化し、こどもの心の状況を常に把握し、悩み調べやアンケート調査日記指導などを継続すること、職員会や保護者との懇談会などの情報交換の場を増やすことなど徹底し、教育相談員を活用した教育相談を行い、学校と保護者の連携を密にし、指導の徹底を図りたいと考えています。

また、児童・生徒には差別をしない、させない

心、命の大切さや他人への思いやりの心を育てるなど、人権教育の推進と道徳の授業に努め、いじめを起さない体制作りを努力していきたいと考えています。

**問** 希望保育所への  
入所の対応は

入所児童の受付で保護者が希望する保育所に入所しづらいと言う声を聞くが、今後、子供が増加した場合の対策や取り組みは。

**答** 保育ニーズに  
対応した子育て  
支援をします

高橋福祉課長

入所希望の多い保育所などでは、事前に希望に添えない場合がある旨の話をしています。

今後、入所希望が増加した場合の対応には、保育士の確保が課題となつてきますが、できるだけ効率的な運営に努め、保育ニーズに対応した子育て支援を進めていきたいと考えています。



町内保育所

質問者



植田 喜晴 議員

Q

### 後期高齢者医療制度は中止を

A

### 制度の中止撤廃を求める考えはありません

問

四月実施予定の後期高齢者医療制度は七十五歳以上の高齢者を今の医療保険から別の医療保険に強制加入させる。その上、新たな保険料負担と差別医療を強いる過酷な制度である。国に対し制度の中止・撤廃を求める。

また、保険料滞納者から保険証を取り上げない。保険料が今より高くない。保険料が今より高くないなら措置をする。困った人の相談と支援の窓口を役場につくる。など、見直しや実施を求める。

答

升田町民課長

後期高齢者医療制度は、保険料の負担を安定かつ、持続可能なものとするための制度であると考えています。

現在は住民の皆様への周知など、新たな制度への移行に努めており、制度の中止撤廃を求める考えはありません。

保険料の軽減は、世帯の所得に応じて七割、五割、二割の均等割りに軽

減させています。

支援対策は、医療や介護のみならず、福祉や保健部局を含めた連携の強化に努めます。

問

### 大型商業施設開業による影響への対策を

大型商業施設の開業が周辺にきたが、交通渋滞対策、特に生活道路への影響と対策は。

雨水調整池の検証と排水時の水路箇所、排水手順・運転のプロセスは。不特定多数の来客や深夜営業で、治安や風紀問題などが地域環境へ与える影響とその対策は。

小売店への影響と今後のまちづくりの対応は。町内からの雇用など、住民は心配しているが、町はどう対応するのか。

答

### 十分な対応を考慮

白石町長

交通渋滞への対応は、オーバーブリッジの設置、交差点の改良等の整

備とあわせ、来店者に対する伊予鉄の運賃無料化、シャトルバスの運行など交通対策を実施します。また、公共交通機関の利用を促進を図るため、車での来店者の抑制と高齢者、障害者等の交通弱者のための、町内を循環するコミュニティバスの運行について、協議を進めています。

雨水調整池は、都市計画法に基づき県が完成検査を実施し、その中で機能の検証を行うことになっていきます。

排水プロセスは、樋門水位をインターネット画面で確認し、放流可能水位を確認後、排水を放流するように指導します。

治安や風紀問題は、二十四時間体制で警備に努めます。また、店内に警備の連絡所を設置することを要請しています。

町は、警察協働員、補導員、防犯所長、青パト隊の連携による昼間、夜間の巡回を実施します。既存の小売店舗は、フジの立地による来店者の

増加を最大限に利用した商工振興が図れるよう、準備を進めています。

地元雇用は、町民を優先的に雇用することをフジと締結しています。全体で二千人の雇用を予定しているうち、本年一月にフジが募集した二百人の中で、半数以上が松前町民となっています。



エミフルMASAKI

問

### 道路特定財源問題 一般財源化と暫定税率廃止を

国の三位一体改革で、町は財源が不足し福祉、まちづくりなど住民サービスの後退と負担増が余儀なくされている。

道路特定財源を地方が自由に使える一般財源化

し、暫定税率の廃止で油の値段を下げれば、町財政が潤い、地域経済や暮らしへの波及効果が生まれる。一般財源化と暫定税率廃止を国に求める考えは。

答

### 制度の見直しを期待

白石町長

現在の道路特定財源は、公平かつ効果的な調達方法の一つでもあります。

しかし、地方の道路調整予算のうち道路特定財源で賄うのは半分のみで、残りの半分を地方財源から支出しているという不合理を是正するため、制度を見直す必要があると考えています。

特定財源制度は国会において、徹底的に議論して頂き、改めるところは改め、必要であれば一般財源化し、道路整備が遅れている地方や、負担する納税者が納得できる見直しを期待して、町の考えを出していきます。

**Q** 待ったなしの給食食材の高騰への対応は

**A** 年度当初は1学期の食材費の状況を見て検討します

質問者



藤岡 緑 議員

**問**

世界的な異常気象による減産やエネルギー価格の高騰が原因で、小麦や卵など給食食材に大きな影響が出て、このままでは給食費の値上げは避けられない。

また輸入冷凍食品の農薬混入問題など、食の安心安全が重要課題となってきた。今、保護者側の負担増に委ねるだけではないのか、町の考えを伺いたい。

**答**

永見教育長

現在、学校給食費は一食あたり小学校で210円、中学校で240円を保護者より徴収しています。現状維持が大変困難な中、年度当初は1学期の食材の状況をみて検討します。その上で、食の安全確保につき可能な限り地元食材を使用するなど、給食委員会等に諮り安心安全な給食の提供に努めます。



給食センター内部

**問**

子どもに対する虐待について

毎日のように報道される子どもたちへの虐待による悲惨なニュース、超少子化時代を迎え、大人の責任として健全育成できる環境づくりが重要です。松前町における子どもに対する虐待の現状とその予防、支援体制について伺う。

**答** 各機関と連携して対応します

白石町長

今年度は、4件の通告相談があり、このうち2件が養育放棄の虐待のケースでした。松前町では平成12年に地域子育て支援センターを開設し、保健センターや保育所、幼稚園など関係機関とも連携して対応していきまします。さらに17年には要保護児童対策地域協議会を設置し、通報や相談があったとき個別検討会議の開催など迅速な対応ができるシステムとなつて

**問** ノーレジ袋運動の成果と今後の取り組みは

います。子育ての初期段階から見守り、虐待につながることを見逃さないように関係機関と連携していきます。更には住民への周知、担当職員の研鑽など予防や早期解決に努めます。

**答** 今後も引き続き取り組みます

栗田生活環境課長

広域での取組はメリツトも多く参加協力店が280から453になり、レジ袋削減枚数も117万枚余りとなりました。これを18リットル石油ポリタンクに換算すると約1200個分の節約となり大きな成果が上がっています。マイバッグ運動についてもいろいろな会合を通して今後も住民や事業所に対して意識啓発や広報活動を行います。(尚ショッピングセンターオープン時、業者の計画として1万枚の買物袋の配布予定があるそうです。)

ごみの減量及び地球温暖化対策の一環として実施された3市3町合同の「レジ袋ノーキャンペーン2007」も昨年末で終了したがその成果は。近々オープンするエミフルまさきには多くの買い物客が集まり、集中的な問題が生じてくる。

この機会に業者と連携して更なる運動展開とマイバッグ普及活動の支援ができればと思うが、町の考えは。



ノーレジ袋キャンペーン

質問者



加藤 博徳 議員

## Q 有機農業推進について

## A 審査会議で協議します

**問** 最近食に関する偽装、殺虫剤の混入等、食の安全について心配だ。偽装の摘発も昨年は52件もあり毎日食するから健康への影響も大変心配している。食と言う字は人に良いと書くが現状の食品は本当に、安全で安心なのか。平成18年12月の国会にて、有機農業推進法が超党派国会議員171名で議員提案され全会一致で可決した。有機農業推進法は、これからの食の安全・安心を推進するための大切なことを考える。愛媛県有機農業推進計画は有機農業推進に関する法律（平成18年法律第112号）及び有機農業の推進に関する基本的な方針（平成19年4月27日付け生産局長通知）に即し、本県も有機農業推進計画が出されている。国内の有機栽培されている作物の割合は1%だが、松前町の推進体制、計画等は。



**答** 白石町長

平成18年に制定された有機農業推進法は、農業者が容易に有機農業に取り組むことができ、多くの消費者が有機農業で精算された農産物入手できるように、生産、流

通、販売及び消費の各方面に、有機農業を推進することが基本理念となつています。愛媛県では現在有機農業を推進するための計画案が示され、重点目標として有機農業に対する消費者の理解を得ることや、農産物を整備することが掲げられています。有機農業の現状は化学肥料や農薬を使用する通常の農産物と比べると、収量や品質の低下が起こり、有機農業に対する消費者の理解は十分とは言えない。全国の普及率は0・6%で1%に達していません。今、食の安全が注目されている中で有機農業の推進は、大変大事な課題であると認識しています。



稲の無農薬・有機栽培試験

現在松前町内には、自社製の有機肥料を使って米や野菜を栽培する、有機農業生産法人もあります。このような法人に対し町も支援をします。20年度の新しい事業で、町が農地を借り上げ希望者に野菜等をつくらせ、食の安全・安心に関心を持ってもらう松前農園の開設を計画しています。この農園では農薬や化学肥料を使わない有機農業を進めて欲しいと思います。

**問** 有機農業の短期・中期・長期の計画は

10年後には、有機農業を50%にする話があるが、松前町の短期・中期・長期の計画は。

**答** 中・長期的な計画はまだありません

得能産業課長

審査会議をつくる中で検討します。

質問者



城村 トキ子 議員

**Q** 国道56号沿道の  
環境美化運動の推進を

**A** 沿道の清掃等積極的に協力します

**問**

以前は国道沿道  
を各種団体が活動  
していたが、現在は一つ  
の団体が年に1、2回清  
掃と花壇の清掃をしてい  
る。草が多く生えている  
ので、私たちも協力して  
作業できればいいと思い、  
各種団体の方にも呼びか  
けた。町民の手で清掃と  
花いっぱいにするのが  
環境美化にもつながり、  
町のイメージアップにな  
ると思う。町民が一つの  
輪をつくり、一緒に活動  
することにも意義  
があると思うが、町とし  
ての考えは。

**答**

栗田生活環境課長

松前町では環境美化取  
り組みとしましては、昭  
和45年から「郷土を美し  
くする清掃」を、また平  
成17年からは、「ふるさと  
とウォーク」として住民  
の皆様にも参加してい  
だいています。

長尾谷川、国近川、大  
井出川、神寄川の清掃を  
実施しています。最近で  
はボランティアの機運が

高まり、身の回りの環境  
は自分たちで美しくする  
という観点から地区、企  
業、職場趣味グループな  
どさまざまな団体が海  
岸、河川、道路のごみ拾  
いや清掃などの活動をし  
ています。

国道56号線沿道の美化  
につきましては20年前か  
ら老人クラブの皆さんが  
草引きや花の植栽をして  
います。

エミフルまさきのオー  
プンを前に、町民の皆さ  
んが自主的に取り組むこ  
とは、まさに松前町のイ  
メージアップにつながり、  
まことに喜ばしいこと  
です。

このような活動に対し  
町としてもごみ袋の配布  
や掃除用具の貸し出し、  
ごみ収集などに積極的に  
協力します。



国道56号線沿道

**研修**  
**報告**

「議会広報編集特別委員会」

研修地

△東京

研修目的

△町村議会広報研修会受講  
議会広報の意義・基本 と技術  
及び編集企画について  
「住民の広報であり、  
住民の目線で編集」

研修内容

2日間の研修を通して、「広報は  
読者にとって読むものではなく、見  
るものと覚悟する。そして、一般質  
問、議案審議、議会活動の三本柱の  
ほか、住民の声が出る企画、議会と  
対話が生まれるような企画を積極的  
に取り上げること。」以上のことが  
特に印象に残  
り、実のある  
研修でした。  
これから、学  
習成果を十分  
生かして、よ  
り良い広報誌  
をお届けしま  
す。





町議会を傍聴して

永見 時子

住む町を愛し、豊かで明るい環境の中で、松前町の将来を託す子どもたちのためにも、多様化する社会から目をそむけてはなりません。聴く権利・訴える権利、議会傍聴の場をとらえ学習することの大切さを深めました。

女性議員の方々が女性の視点からの議会質問、子育て・福祉・医療等明るい見通しがあるかがわれ期待感が伝わってまいりました。また、エミフル松前出店に伴い、非行・犯罪も予想されるなか、環境整備の要望も大きい。私がひそかに想いをはせること・・・松前町古来の店舗維持者に温かい支援策はないだろうか。



「義農の町」と世に知られてきた、命をかけてこの町を守った人間愛の灯を消さないように、真摯に生きる人への応援歌が欲しい。

正直重く感じてきた「議会傍聴」背中を押して下さいました方にお礼申し上げます。



議会・議員の活動を

加納 一成

さくらが咲き誇る季節となり、いよいよ春本番となりましたね。

私たち松前町民にとってもエミフルまさきの、オープンを控え松前のイメージチェンジをイメージアップに努めて、松前町にとっても春が来るように願っています。

今、国会ではいろいろな問題やねじれ現象などで予算も決まらない状態で国民の一人

として不安を抱きます。松前町議会ではこういうことは無い事を信じています。

私は、「議会だよりまつかぜ」はあまり読まなかったのですが、私たちが選んだ議員がどのような活動をしているのか、どんな質問をしているのかこれからは、「議会だよりまつかぜ」を読んで議会・議員の活動を見守っていきたいと思っています。

本会議会 傍聴のご案内

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

傍聴の手続きは、議会事務局（庁舎5階）で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

（次回は6月中旬・下旬の予定です。）

住所・氏名・年齢を届けるだけで  
どなたでも自由にできます。



**町民の声の原稿をお寄せ下さい**

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。（500字程度）

**宛先**

松前町筒井 631  
議会広報編集特別委員会  
町民の声

FAX 985-4148  
E-mail 500gikai@town.masaki.ehime.jp

短歌だより

作品提供 松前町文化協会

親しみし神さまの頌徳碑

まだあたらしき触りて惚ふ

宗意原 黒田 和子

浅みどり水藻くぐりて泳ぎゆく

長尾谷川仲よき鴨が

宗意原 永見 時子

長男夫婦と暮すあけくれ手に適ふ

家事手つだひて帰宅待ち居り

南黒田 住田 鈴

敗戦より生きながらへて六十年

引き上げし日も遠き思ひ出

北黒田 松浦 時代

術後十とせを躓きつつも生き延びて

子年七たび屠蘇酌み交す

筒井 黒田 二三

戦後史をひそかに持ちて語るなく

風に穏しき残り火を焚く

筒井 鉛矢 正子

庭に咲く真紅のバラとかすみ草

活けて帰省の子を待ちをりぬ

東古泉 竹田 和子

茜さす石鎚仰ぎ濯ぎ物を

干しつつ今日も恙が無かれと

東古泉 萩野 早苗

廃屋の庭に咲き満つ白梅の

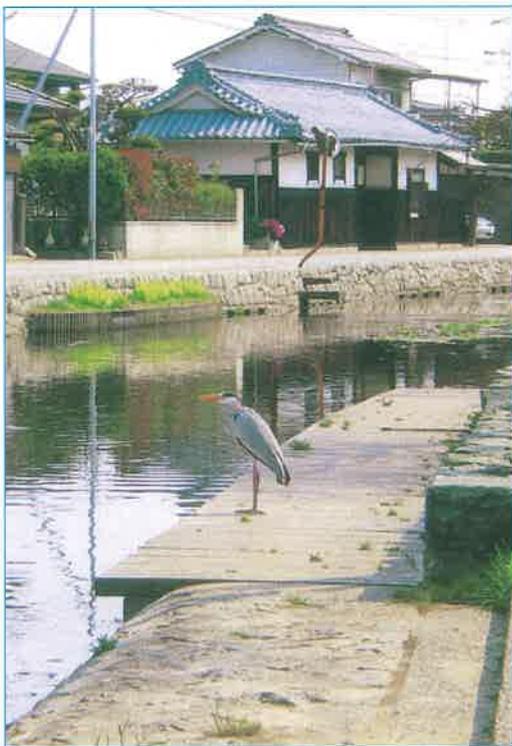
古木に宿る命を思ふ

西高柳 下室 貞子

厳寒の川の流れに餌を求め

白鷺一羽夕闇の中

上高柳 伊東 明美



編集後記

今年冬が長かった分だけ、春の陽光が深く身にしみます。

議会広報研修会を2月に終え、その成果を生かすべく、研鑽を積んでいくところですが、全面的な見直しをおこない、モニター調査も実施し、手づくりの新しい広報誌をお届けしたいと考えています。

議会広報編集特別委員会

委員長 早瀬 武臣

副委員長 松本一二美

委員 藤岡 緑

委員 寺下 武

委員 八東 正

委員 村井慶太郎

委員 加藤 博徳

委員 城村トキ子